

氏名 大 梨 泰 亮

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 5 9 0 号

学 位 授 与 の 日 付 昭和48年 3 月 31 日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学 位 論 文 題 目 悪性腫瘍患者の血清糖蛋白に関する臨床的研究
第一編 悪性腫瘍の進展度と血清 α_1 - Acid glyco -
protein 及び α_1 - Antitrypsin 値について
第二編 悪性腫瘍患者の血清 α_1 - Acid glycoprotein
及び α_1 - Antitrypsin と治療及び予後との関係につ
て

論 文 審 査 委 員 教授 小 坂 淳 夫 教授 大 藤 真 教授 水 原 舜 爾

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

第 1 編 α_1 - Globulin 位の糖蛋白である α_1 - Acid glycoprotein 及び α_1 - Antitrypsin 値と各種悪性腫瘍の進展度との関係を中心に検討を試み、これらの血清レベルが肺癌、胃癌などの腫瘍病巣の拡がりによく平行する成績を得たが、悪性リンパ腫においてはこの関係は明らかではなかった。又、原発性肝癌と転移性肝癌においてこれらがそれぞれ特徴的な値を示した。

第 2 編 化学療法による腫瘍の消長とこれら糖蛋白の経時的推移の関係について検討を試み、 α_1 - Acid glycoprotein が腫瘍病巣の縮小あるいは増大によく平行する成績を得た。これに反し α_1 - Antitrypsin は各種抗腫瘍剤の直接の影響を受けて変動する傾向が示され、治療効果の指標としては前者が適することが解った。又、治療開始前のこれら糖蛋白の値と無効例の生存期間に有意の相関々係が存在する所から、治療無効例の生存期間を大まかに推定し得た。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、悪性腫瘍患者の血清糖蛋白、 α_1 - Acid glycoprotein および α_1 - Antitrypsin 値に関する臨床的研究を行なったものであるが、とくにその悪性度ないし進展度との相関性が強く、治療効果ならびに予後判定に有用であるとの新知見をえている。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。